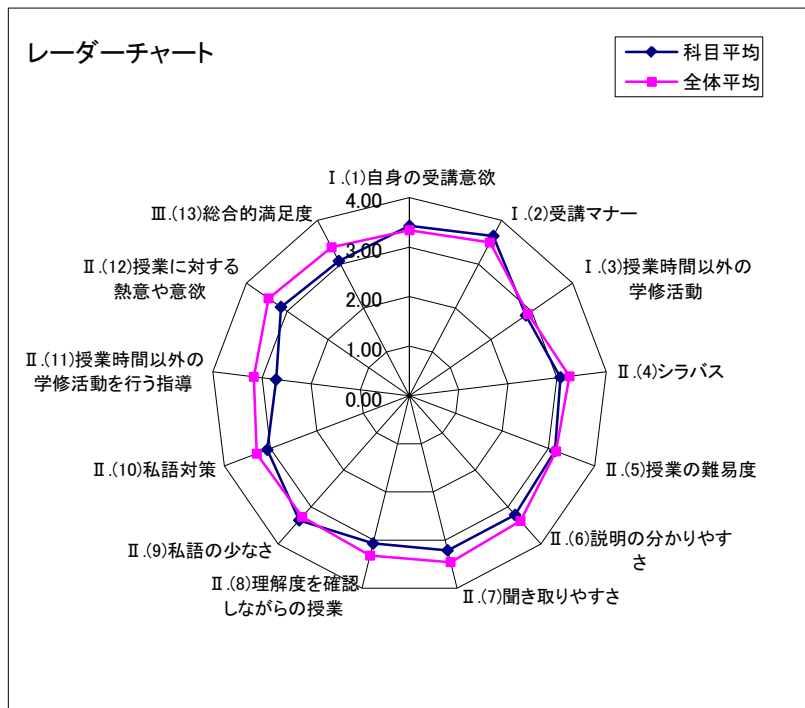
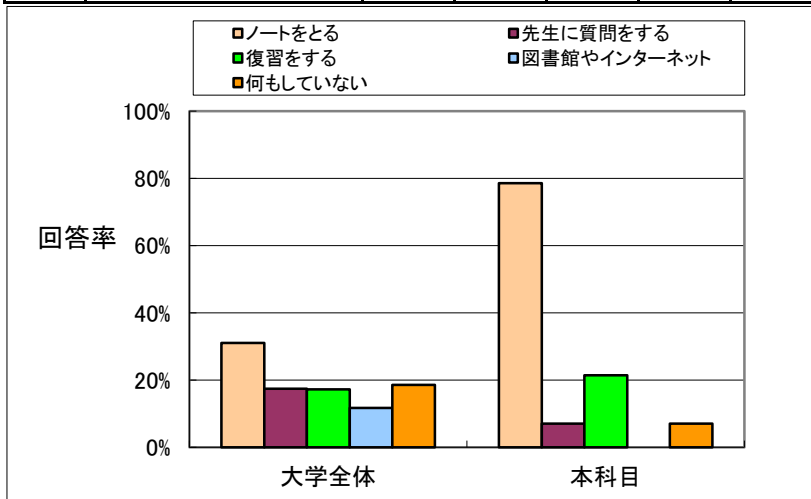


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

＜※複数選択可項目＞	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(14) 授業を理解するための工夫	78.6	7.1	21.4	0.0	7.1



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.43	3.34
	I.(2)	3.64	3.49
	I.(3)	2.86	2.91
講義内容・方法	II.(4)	3.07	3.26
	II.(5)	3.14	3.16
	II.(6)	3.21	3.38
	II.(7)	3.21	3.46
	II.(8)	3.07	3.32
	II.(9)	3.36	3.27
	II.(10)	3.07	3.30
	II.(11)	2.71	3.17
	II.(12)	3.15	3.46
	総合評価	III.(13)	3.07

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.31	3.25
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.11	3.31
II.(4)~(12)		
総合評価	3.07	3.39
III.(13)		

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2012年度 後期
時間割番号	2253
科目名	インターネット英語Ⅱ/異文化コミュニケーション論
教員名	

①授業計画の達成度について

時間の関係でわずがに残った部分以外はほとんどシラバスどおりの順序と内容を順守できた。また難易度については授業にきちんと出席しアンケートに回答してくれた全員が4点と3点に収まっていたことは良かったと思う。しかし少数とはいえ低学力の度合いの著しい学生までもすべてケアできていたわけではなく、彼らの大部分は出欠状況が極めて悪いこともあり、ほぼ蚊帳の外といった状況であったため、いかんともしがたかったことも事実である。この意味では本当の意味で授業計画が達成できたとは言い難い部分があったことは否定できないであろう。

②授業の進め方について

スコアが全体平均をやや下回っているものが多かった点は少し気にはなったが、おおむね予測どおりの結果に近かったのではないと思う。英文、語句、文法については口頭での説明以上に板書を徹底して行ない、毎回授業の終わりに小テスト的なことをし、試験前指導も徹底し、事前模擬小テストを実施し、英語が苦手の学生も可能な限り合格点へと導き、英語が比較的得意な学生はさらに高得点に到達できる力がつくような指導を心掛けたことが評価にプラスの影響を与えている部分が少なくなかったのではないだろうか。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

この科目は旧課程の科目であり、しかも来年度は4年生以上の学生ばかりとなり、再履修を繰り返してきた学生ばかりになるであろうと同時に、就職活動による出席不良というケースも続出するであろうから、今年度も含めこれまでの反省点を踏まえも授業の進行が最も困難になることが予想される。4月の授業開始とともにじっくりと状況を見極め、これまで以上に丁寧な真のリメディアルの指導が求められるところであろう。